

# 令和元年度 中学生まちづくり委員会

テーマ：「私たちのアイデアをまちづくりに！」～もっと輝けるまち豊橋～

【目的】 次代を担う中学生に、市の行政について理解と興味を持ってもらうと共に、中学生の視点で出されたアイデアからまちづくりのヒントを探り、今後の施策推進に活かすことを目的とする。

【日時】 令和元年8月26日（月）10：00～15：00

【場所】 こども未来館ここにこ 研修室

【参加者】 市内中学校2年生 23校 各1名 学校推薦（男：8名 女：15名）  
市側：市長 広報広聴課長 教育政策課指導主事 他

## 中学生参加者一覧

グループA		グループB		グループC		グループD	
豊岡中	渡辺 万鈴	東陽中	水鳥 秋歩	中部中	佐藤 陽菜	東陵中	沓掛 亜美
東部中	中神 王治郎	豊城中	原 竜雅	青陵中	佐藤 真之	南部中	大島 玲奈
羽田中	羽田野 真由	牟呂中	石田 あこ	吉田方中	大谷 美晴	本郷中	小川 拓真
高師台中	水野 絢葉	南陽中	新谷 花香	石巻中	小田 圭吾	北部中	白井 千尋
南稜中	河合 悠	前芝中	福島 拓夢	五並中	山田 絵梨	二川中	鈴木 脩太
高豊中	中川 智子	章南中	清田 優南	桜丘中	蛸澤 萌乃		

【グループワーク・発表】

グループ	目指すまちの姿	できること	
	魅力・地域資源	自分・地域住民	市役所
A	目指せ！最高の農業都市「豊橋」 ～みんなで作ろう参加型農業～	OSNS への投稿 「花」や「農業をしているところ」 ○地産地消 近くの店に売る ○イベント等へ積極的に参加 ○子ども・高齢者への呼びかけ ○小中学校との連携	○小中学校と地域→農業を通じた交流イベントの開催 ○耕作放棄地の活用 ・「田んぼアート」 ・市民農場（ボランティアの活用） ○道の駅等で「天伯すいか」の栽培、試食イベントの開催 ○のんほいパークで農産物を使ったスイーツを販売
	【農業】 ○農家の人だけでなく、市民全体で農業都市をつくる ○農業が観光に繋がるまち ○「農業都市豊橋」農業の高齢化問題の解消 多くの市民の農業に参加できるまち		
B	「魅力」や「地域資源」を 最大限に生かした観光のまち	OSNS への投稿 「おでん車」「ビール電車」 「ブラックサンダー」「豊橋カレーうどん」「のんほいパーク」等 ○積極的に利用する ○イベント開催・参加・協力	○有名人やメディア、SNS の効果的な活用 →全国に地域資源・魅力をアピールする ○観光地巡りの「ルートマップ」の作製 ○部活動の大会→「ブラックサンダー杯」の開催 ○「豊橋カレーうどんの日」をつくり、イベントを開催 「豊橋カレーうどん博物館」建設 ○市電で行く「目的地」となるような場所をつくる
	【祭り・吉田城・のんほいパーク】 ○市外の人、外国人が多く訪れる祭り・観光スポット 【ブラックサンダー・豊橋カレーうどん】 ○全国の人→買う 豊橋に食べに来る 【市電】 ○多くの人利用		
C	市民が誇れるまち！	OSNS への投稿 「市電」「農産物」「飲食店」 「自然」等 ○地産地消 ○イベント開催協力・積極的参加 ○530 活動を通じて地域の人と交流を深める	○市電の「季節電車」を増やす ・春→「花見電車」沿線に桜を植える 秋→「読書電車」 ○市電停留所付近のマップを作製→飲食店や自然「絵」で紹介 ○地産地消の呼びかけ 農産物を使ったレシピの募集 →給食や飲食店で活用 ○ゴミの分別、減量に関する常時活動 3R の徹底
	【市電】 ○多くの人利用 季節ごとにイベント開催 【農産物】 ○全国的に有名な名産品が多い 地産地消 【530】 ○530 活動で地域交流 分別ができる、ゴミが少ない、きれいなまち→好感度の高い		
D	人に紹介できて、住みたくなるまち豊橋	OSNS への投稿 ○ボランティアで観光客を案内 ○自転車置き場を造る ○名産品の提供 →安く売って、たくさんの人に買ってもらう →観光客とのふれあい ○530 参加	○「つながる豊橋プロジェクト」 自転車置き場の設置 「レンタル自転車」 名産品の販売 ・自転車用道路の整備 ・観光客を案内するボランティア（地域住民の協力）の育成 ・他の市と繋げる施策 ・PR 用映画の作成
	【市電】 ○市電の駅で自転車を借りて観光地を巡る →立ち寄った先で名産品を安く購入できる 通勤・通学以外での市電・自転車の活用 ○立ち寄り先で住民と触れ合える 【祭り】【公園】 ○祭りや、公園巡り ○市外、海外からの観光客の多いまち		